

人と社会のつながりや変化をうみだす



# 支え合い ソーシャルワーカー



(重層的支援体制整備事業)

## 高齢・子育て・障害・生活困窮...さまざまな分野が重なり合った 「複雑な困りごとを抱える人」を支援する方々へ

いま地域では、急速な高齢化や人と人とのつながりの希薄化など、現代のさまざまな社会状況の変化により、社会的孤立やダブルケア、8050問題など、複雑化・複合化した生活課題が生まれています。それに伴い各分野の支援現場でも、従来の支援だけでは対応や解決が困難な事例が増えてきています。

例 **介護** の現場では...

自宅にひきこもる子どもを  
支えながら、生活に  
行き詰まっている  
高齢の方がいる...



例 **子育て支援** の現場では...

ひとりで子育てをしながら  
親の介護を同時に担う  
ダブルケアで  
困っている人がいる...



例 **障害支援** の現場では...

家族の高齢化によって  
家庭内ケアを受けることが  
困難になっている  
人がいる...



例 **生活困窮者支援** の現場では...

本人や周りも気づいていない  
障害があるのかも...  
このまま就労支援を  
続けていいのかわからない



例 **医療** の現場では...

家庭内の複雑な事情で  
治療が終わったあとも  
帰れない、受け入れ先が  
ない人がいる...



例 **町会など地域** では...

孤立している  
住民がいる...  
近隣とトラブルを  
抱えているようだが...



分野をまたぐ「困りごと」に対し、どのように支援したらいいかわからない...



わたしたち〈支え合いソーシャルワーカー〉は、  
地域住民・組織や関係機関と連携しながら、  
課題の解決に向けた支援の連絡・調整を行います。 詳しくは裏面へ▶

包括的な支援体制づくり  
(多機関協働事業)

必要な支援を届ける  
(アウトリーチ等支援事業)

社会とのつながりづくり  
(参加支援事業)



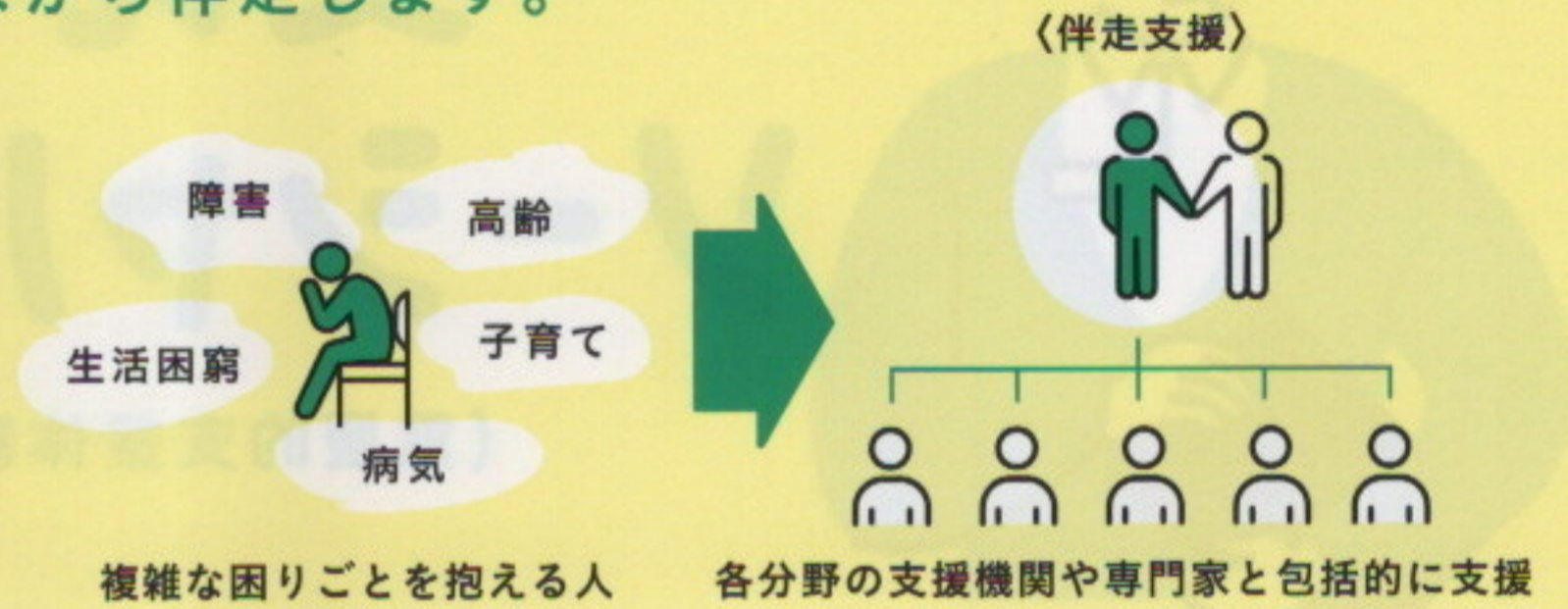


# 支え合いソーシャルワーカー

「複雑な困りごとを抱える人」を、地域や関係機関と連携しながら支援につなげ、寄り添いながら伴走します。

## 【重層的支援体制整備事業とは】

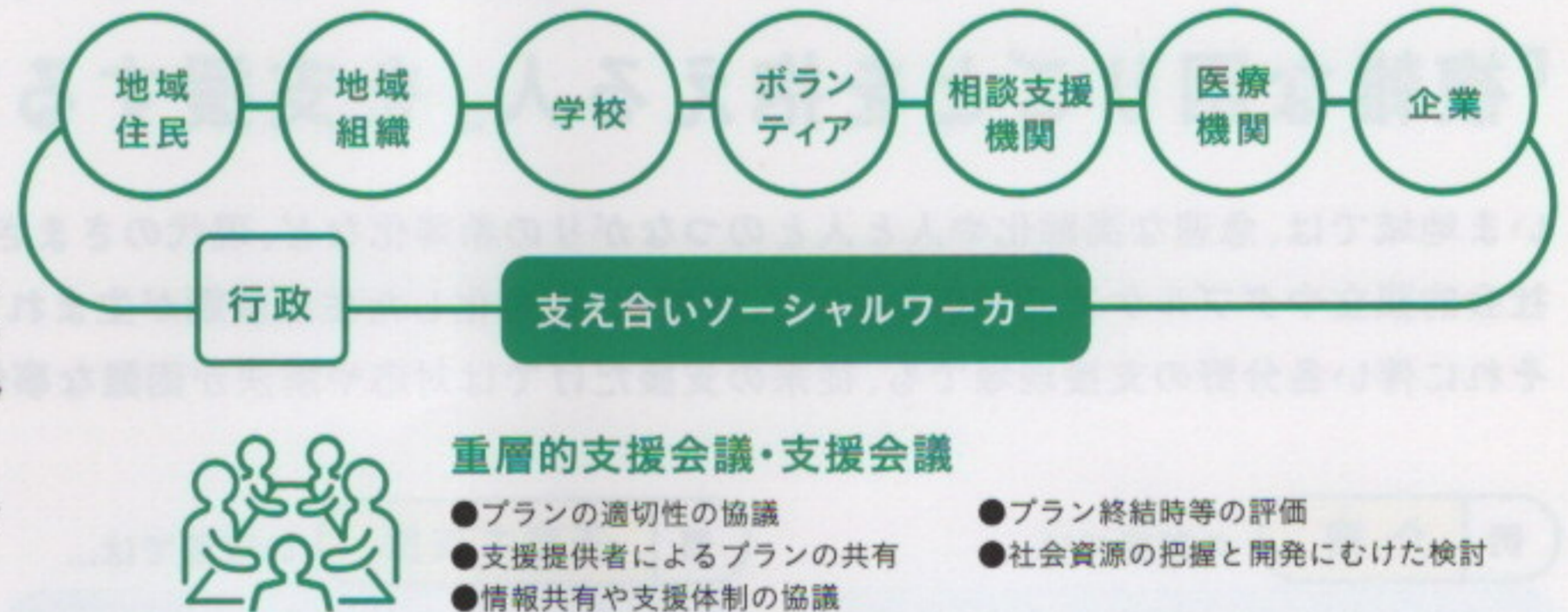
社会福祉法の改正により、令和3年4月から地域共生社会の実現を目指すため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が全国でスタートしました。既存の支援機関や専門職の負担を軽減しながら、地域の支援力を引き上げ、効果的に住民を支援していくための事業です。



## 多機関協働事業

関係機関と協働し、包括的な支援体制を構築

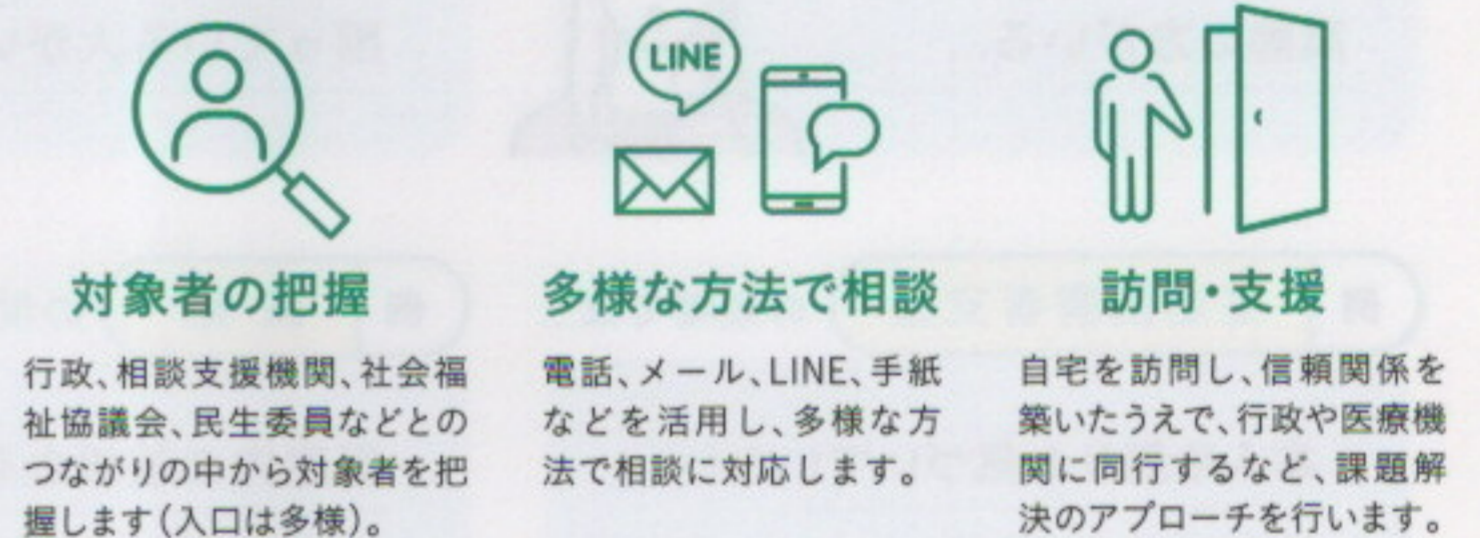
- 単独の支援機関では対応が難しい複雑化、複合化したケースの調整役を担い、支援機関の役割分担や支援の方向性を決めます(支援プランの作成)。
- 相談支援機関等をサポートし、金沢市内全体で包括的な相談支援体制の構築を目指します。



## アウトリーチ等支援事業

支援が届いていない人を見つけ、信頼関係を築きながら支援

- 各種会議等に出席し、関係機関とのネットワークや地域住民とのつながりの中から潜在的な相談者を見つけます。
- 特定の支援機関だけではアプローチすることが困難なケースは、一緒にアウトリーチ※し必要な支援につなぎます。

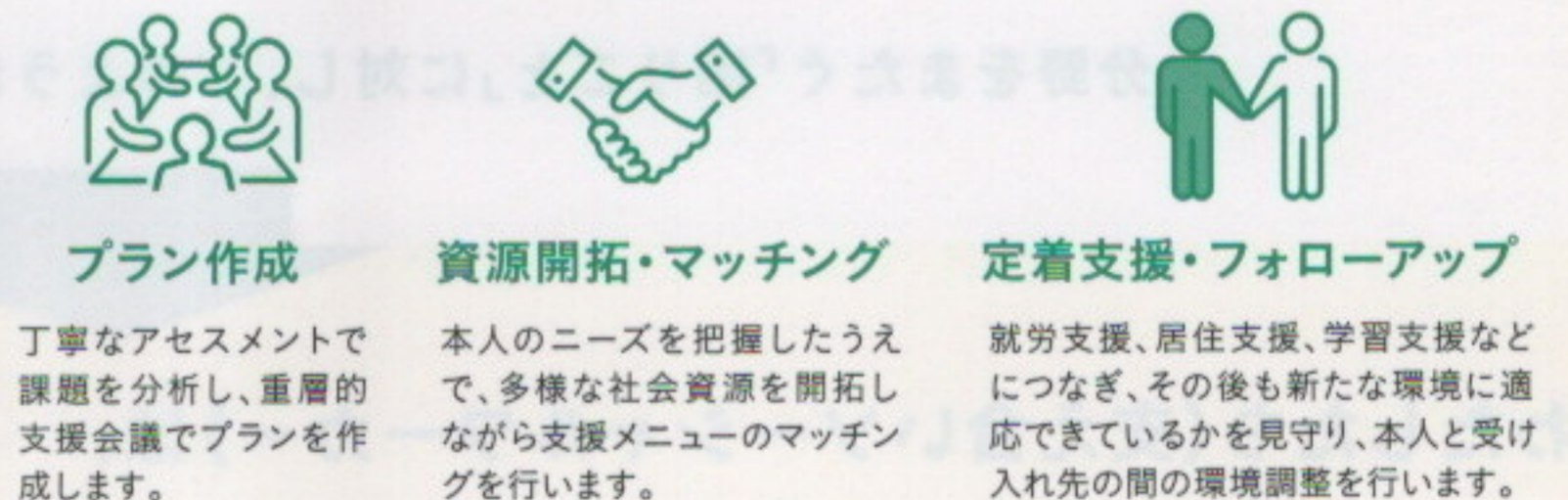


※アウトリーチとは…支援が届いていない人に積極的に働きかけて情報・支援を届けること

## 参加支援事業

ニーズをふまえたマッチングで社会とつながりをつくる

- 地域や社会との関わり方を選択し、自らの役割を見いだすための多様な接点をつくるための支援です。
- 利用者のニーズを踏まえ、丁寧なマッチングを行います。
- 本人への定着支援と受け入れ先の支援を行います。



お気軽にご相談ください

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 076-231-3571

金沢市高岡町7-25 金沢市松ヶ枝福祉館3階 FAX 076-231-3560 E-mail sasaeai-sw@kana-syakyo.jp

【開設時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始は除く)午前9時～午後5時45分